

2024.10 – 2025.3
コースフロー / コースカリキュラム

ビジネスアーキテクト

事業環境の変化を見極め、ビジネス領域の問題を分析し、
課題解決に導くための要件定義ができる
ビジネスアーキテクトに関する領域です。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2024年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

事業戦略・投資管理・ ビジネスモデル

事業の方向性を見据えた戦略立案、ビジネスを成功させるIT投資、ステークホルダーに価値をもたらすビジネスモデルに必要なスキルが修得できます。

事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

ビジネスアナリシスのフレームワーク～企業の変革を成功に導くために～

レベル1	レベル2	レベル3
	CTV068 オンライン BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 グループ演習 2日間 CDV008 オンライン (PDU) CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 3日間 CDV017 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間 CDV011 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間 CDV016 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	

ビジネス戦略に沿ったシステム企画立案～IT投資に見合う企業価値創造のために～

レベル1	レベル2	レベル3
CTV071 オンライン IT主導で攻めのビジネスを 実現するためのビジネス要件と IT企画の作り方 レクチャ 1日間	CTV076 オンライン (PDU)変革の時代に生き残るために 必要な戦略的IT投資のポイント ー守りから攻めのPMシリーズー グループ演習 1日間	

ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義～企画・提案の実現性を担保する～

レベル1	レベル2	レベル3
CTV077 オンライン 要件定義スキル基礎 ーロールプレイによる 要求の引き出しー グループ演習 2日間	SPV077 オンライン システムのニーズ分析 グループ演習 2日間	SPV076 オンライン 要件定義における業務の可視化を 成功させるトレーニング ー業務ニーズから導くシステム化要件ー グループ演習 2日間

レベル1 : 要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方
 レベル2 : 要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方
 レベル3 : 複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

業務プロセスの改革を推進～システム企画立案・要件定義で必須の可視化技術～

レベル1	レベル2	レベル3
CTV072 オンライン 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 レクチャ 1日間		
CTV073 オンライン 既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方 レクチャ 1日間		

システムの企画立案から要件定義（要件定義以降を含めた）までの人財育成

レベル1	レベル2	レベル3
企画 CTV071 オンライン IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方 レクチャ 1日間	CTV076 オンライン PDU (PDU)変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイントー守りから攻めのPMシリーズー グループ演習 1日間 CDV017 オンライン PDU (PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間 CDV016 オンライン PDU (PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間 CDV011 オンライン PDU (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

レベル1	レベル2	レベル3
要件定義/業務の可視化 CTV077 オンライン 要件定義スキル基礎 ーロールプレイによる 要求の引き出しー グループ演習 2日間 CTV072 オンライン 現場主導で現状業務の 見える化を推進するための 業務フロー作成技法 レクチャ 1日間 CTV073 オンライン 既存システムの改修/リプレースの ための現行システム要件と 利用業務状況の洗い出し方 レクチャ 1日間	SPV077 オンライン システムのニーズ分析 グループ演習 2日間 SPV076 オンライン 要件定義における業務の可視化を 成功させるトレーニングー業務 ニーズから導くシステム化要件ー グループ演習 2日間 CTV075 オンライン 業務のIT化を推進するための 新業務フロー作成技法と システムへの要求のまとめ方 レクチャ 1日間 開発工程全般・ 企画・設計	
システム要件定義以降	SPV074 オンライン 後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを 未然に防ぐシステム要件定義のコツ レクチャ 1日間 SPV073 オンライン 業務要件とユーザビリティを 確保するためのユーザ要件定義と UIデザインのコツ レクチャ 1日間 SPV075 オンライン 開発の手戻りを最小限にする システム要件の品質チェックと 基本設計のコツ レクチャ 1日間 開発工程全般・ 企画・設計	
BABOK® 関連	CTV068 オンライン (PDU) BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 グループ演習 2日間 CDV008 オンライン (PDU) CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 3日間	

資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3
	CDV008 オンライン (PDU) CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 3日間	

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 : 要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方

レベル2 : 要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方

レベル3 : 複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

オンライン	コースコード CTV068
 グループ演習 2日間	(PDU) BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 【バーチャル・クラスルーム】 PDU
	ビジネスニーズを特定しビジネスソリューションを決定するために必要なビジネスアナリシスおよびビジネスアナリストの役割について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。
到達目標	ビジネスアナリシスという専門職務と、その標準的なタスクやテクニックを説明できる。
対象者	ビジネスアナリシスを理解し、業務へ適用したい方。
前提知識	情報システム開発プロセスに関する概略的な知識があること。
内 容	1. ITプロジェクトの課題とBAの必要性 2. BABOK®の概要 3. 各知識エリアの解説 4. BAの専門知識 5. BABOK®活用の勘所 6. PMBOK®ガイドとのつながり 7. BAの資格認定制度
受講料	¥110,000

オンライン	コースコード CDV017
 レクチャ 2日間	(PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU
	IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(IT戦略コース)]で学習が可能です。
到達目標	・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。 ・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。
対象者	・IT提案に経営者視点を加味したい方。 ・IT戦略の前工程を学びたい方。 ・経営企画業務に携わる方。 ・経営改革または業務改革を提案する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解 2. 変革認識プロセスの理解 3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ
受講料	¥88,000

オンライン	コースコード CDV011
 レクチャ 2日間	(PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU
	IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(経営戦略コース)]で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。 ・ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。
対象者	・IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。 ・IT導入・利活用の前工程を学びたい方。 ・IT企画業務に携わる方。 ・ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解 2. 経営戦略プロセスの理解(一部、業務改革プロセスを含む) 3. IT戦略プロセスの理解 4. IT利活用プロセスの理解 5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ
受講料	¥88,000

オンライン	コースコード CDV016
 レクチャ 2日間	(PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU
	このコースではIT経営の上流となる変革認識および、ITコーディネータプロセスガイドラインを学ぶことを通じて、ITコーディネータケース研修に相当する知識をトータルで修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・経営に必要な変革の必要性および、組織の変革ニーズを整理し、コンセンサスとコミットメントを得ることができる。 ・ITコーディネータプロセスガイドラインの概要を把握し、自らの変革プロジェクトに適用できる。
対象者	・IT提案に経営者視点を加味したい方。 ・IT戦略の前工程を学びたい方。 ・経営企画業務に携わる方。 ・経営改革または業務改革を提案する方。
前提知識	「IT経営ストラテジ(経営戦略コース)」および「IT経営ストラテジ(IT戦略コース)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. IT経営認識領域と変革認識プロセスの理解 2. 持続的成長認識プロセスの理解 3. 変革マネジメントプロセスの理解とまとめ 4. IT経営共通領域の理解
受講料	¥88,000

オンライン	コースコード CTV071
 レクチャ 1日間	IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方 【バーチャル・クラスルーム】
	ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その最重要ポイントに絞って、書籍「ビジネスデザイン」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。
到達目標	・ITの真の価値について説明できる。 ・顧客ニーズの設定手法について説明できる。 ・ビジネスシナリオの作り方について説明できる。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっている担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。
前提知識	5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。
内 容	1. IT化と従来のシステム化の違い 2. ビジネスと顧客 3. 顧客ニーズと提供価値 4. IT主導のビジネスシナリオ 5. 演習
受講料	¥49,500

オンライン	コースコード CTV076
 グループ演習 1日間	(PDU) 変革の時代に生き残るために必要な 戦略的IT投資のポイント-守りから攻めのPMシリーズ- 【バーチャル・クラスルーム】 PDU
	関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的IT投資でそれを実現するための具体的手法を修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・戦略的IT投資案件の企画および提案の具体的な進め方が説明できる。 ・限られた予算を有効活用するIT投資マネジメントの考え方が説明できる。
対象者	・IT投資案件を提案する方。 ・セールスエンジニアの方。 ・ビジネスアナリストの方。
前提知識	情報化に関する基礎知識があること。
内 容	1. 今なぜ戦略的IT投資なのか (1)IT投資を取り巻く環境 (2)最新ITトレンド情報 2. IT投資のアイデアを発掘する (1)ラン・ザ・ビジネスの効率化 (2)バリューアップの創出 3. ビジネス戦略にIT投資を連動させる (1)バランススコアカードの考え方 (2)ITソリューションへの応用 (3)ITイノベーションへの展開 4. 経営者に投資対効果を説明する (1)見積金額の妥当性 (2)投資効果の算出方法
受講料	¥38,500


マシン実習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

eラーニング
インターネット接続による自己学習

自習テキスト
自習書による独習

オンライン	コースコード CTV077
 要件定義スキル基礎 －ロールプレイによる要求の引き出し－ 【バーチャル・クラスルーム】 2日間	
	このコースでは、要件定義の進め方の概要について学びます。要件定義を進める上で共通的に必要となるスキル(コミュニケーション、問題解決)について、内容の理解が容易な事例を用いた演習を通して学習します。
到達目標	- 要件定義の進め方を理解し、説明できる。 - 要件定義を進める際に、問題を理解・把握し、解決策を提示するための知識を説明できる。 - 要件定義を進める際に、関係者と円滑にコミュニケーションを取るための知識を説明できる。
対象者	要件定義の基礎的なスキルを学びたい方。
前提知識	特に必要としませんが、SE経験があることが望ましい。
内 容	- 要件定義の全体手順 (1)作業ステップ (2)成果物 - 要件定義を進めるために必要となるコミュニケーション力 (1)ヒアリングのスキル (2)ミーティング進行のスキル - 要件定義を進めるために必要となる問題解決力 (1)問題分析のスキル
受講料	¥99,000

オンライン	コースコード SPV077
 システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】 2日間	
	顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。
到達目標	- ニーズ分析の基礎を説明できる。 - 顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。
対象者	- 顧客業務要求に合わせたシステム化要件の要求分析に関心のある方。 - 要件定義プロセスにて顧客との合意形成を勧めたい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	- ニーズ分析の位置付けと意義 (1)「上流工程」で行うべきこと (2)ニーズ分析の全体プロセス (3)ニーズ分析の意義 - ニーズ分析のプロセス (1)準備フェーズ (2)分析フェーズ
受講料	¥82,500

オンライン	コースコード SPV076
 要件定義における業務の可視化を成功させる トレーニング業務ニーズから導く システム化要件－【バーチャル・クラスルーム】 2日間	
	ニーズ分析の結果をもとに業務・システムの要件を定義するトレーニングです。要件定義において業務の可視化を行うことにより合意形成できる要件定義を行うための手法を修得できます。
到達目標	- 要件定義全体の流れについて説明できる。 - 業務の可視化ができる。 - システムニーズを反映した新しい業務・システムの要件が整理できる。
対象者	- 要件定義のプロジェクトに今後参加される方、または参加したいと考えている方。 - 要件定義の活動の取りまとめを行う方。
前提知識	「システムのニーズ分析」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	- 業務要件定義の位置付けと意義 (1)「超上流工程」(要件定義)で行うべきこと (2)業務要件定義の全体プロセス (3)業務要件定義の意義 - 業務要件定義のプロセス (1)業務プロセスデザインフェーズ (2)アプリケーションデザインフェーズ
受講料	¥82,500

オンライン	コースコード CTV072
 現場主導で現状業務の見える化を 推進するための業務フロー作成技法 【バーチャル・クラスルーム】 1日間	
	RPAなどの現場主導によるIT化／業務改善がますます増えています。このような取り組みを推進するには現行業務の見える化が不可欠です。しかし業務の見える化は決して簡単ではなく時間もかかるため、なかなか期待通りに進まず失速するケースも多々あります。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な手法を紹介します。
到達目標	- 業務の構造について説明できる。 - 業務フローの作成方法について説明できる。
対象者	- 生産性向上や働き改革などのテーマに取り組まなければならないがどこからどう進めれば良いかお悩みの方。 - 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっている担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。
前提知識	1年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。
内 容	1. どうして業務改善が難しいのか 2. 業務の構造 3. 見える化が難しい理由 4. 業務フロー作成技法 5. 見える化の罫を乗り越える 6. 演習
受講料	¥49,500

オンライン	コースコード CTV073
 既存システムの改修／リプレースのための 現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方 【バーチャル・クラスルーム】 1日間	
	21世紀も四半世紀を過ぎた今、既存システムの高度化・デジタルビジネス対応は喫緊の課題です。しかし多くの取り組みで発生している問題は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。
到達目標	- 業務の構造について説明できる。 - 業務フローの作成方法について説明できる。 - 見える化の罫について説明できる。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわかっている担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。
前提知識	3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良し。
内 容	1. 「現行通り」とは何か 2. 洗い出すべきもの 3. システム要件と業務の関係 4. ユーザの期待と失望 5. 洗い出しの手順 6. 演習
受講料	¥49,500

オンライン	コースコード CDV008
 (PDU)CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU 3日間	
	CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA(International Institute of Business Analysis)が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：24ポイント)の取得が可能です。
到達目標	- BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。 - 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。 - CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。
対象者	CBAP®資格取得をめざす方。
前提知識	BABOK®の基礎知識を修得していること。
内 容	1. 試験概要/受験申請手続き 2. 基本概念 3. 計画と監視 4. 引き出しとコラボレーション 5. 戦略アナリシス 6. 要求分析とデザイン定義 7. ソリューション評価 8. 基礎コンピテンシー 9. 要求ライフサイクル管理 10. パースペクティブ 11. 150問模擬試験/解答解説
受講料	¥165,000



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-263-0051	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>